

「 きけんをなくそう 」

宮崎県 宮崎市立那珂小学校 3年 <sup>ありむら</sup>有村 <sup>しおり</sup>汐梨

じゅぎょう中、「ドーン」と大きな音がしました。わたしは、びっくりしてまどの外を見てみると、大きな木が山から切り落とされていました。先生が、「土石りゅうがおこらないように、学校のうら山を工事しているんだよ。」と教えてくれました。

次の日は、ショベルカーや、ブルドーザーなどをつかって作ぎょうをしていました。毎日、木が切りたおされて、大きな岩もなくなって、山がどンドンすっきりしていきました。

木がなくなったあとは、ブロックみたいな物をつけていました。お母さんが、「あれは、のりわくこうというんだよ。」と教えてくれました。土石りゅうがおきないように、山をこ定するそうです。土石りゅうがおこる前に、工事をしてもらえてよかったです。

7月に、しずおか県で土石りゅうがおきたとき、テレビで見てとてもあぶないことだと思いました。もし、わたしの町で土石りゅうがおきたらとてもこわいです。家が、ながされるかもしれない、学校がなくなるかもしれないと考えたら、悲しい気持ちになりました。わたしの家のまわりや学校も山がたくさんあるので、大雨のときはゆだんしていけないと思いました。いつ土石りゅうがおきるか分からないので、いつでもにげられるように、ひじょう食や水を用意して、ひなん場所を家族で決めておこうと思いました。

学校で風水がいのひなんくんれんをしたことがあります。近くの公みん館にみんなでひなんをする練習をしました。コロナのえいきょうで、今年はできなくなったけれども、大雨の時にお父さんやお母さんがむかえに来る練習をしたことがあります。本当に大雨できけんな時に、ひなんくんれんのようにすれば、みんながぶじにひなん場所に行けるから、くん練が大切だと思いました。

宮崎は、山が多くて大雨がふるときけんな所が多いので、工事がすすんで安心してらせる町になるといいと思います。